

北海道高等学校文化連盟
第51回 全道高等学校音楽発表大会 実施要領（案）

- 1 演奏時間 演奏時間は合唱7分、合奏8分以内とする。
(セッティングの時間は合唱1分、合奏2分を目途とする。)
- 2 合同演奏 ① 交流会において、全体合唱を行う。「大地讃頌」
② 大会参加校顧問・大会役員による合唱を交流会で行う。「ふるさと」
- 3 表彰および代表校選出 本大会において、各部門毎に、最優秀賞・優秀賞・優良賞を1校、その他奨励賞を表彰する。
ただし、器楽管弦楽部門においては、器楽と管弦楽からそれぞれ一団体ずつ最優秀賞を選出する。また、最優秀賞は、北海道代表として翌年度の全国高等学校総合文化祭に参加するものとする。
吹奏楽と合唱部門については最優秀賞に選出された年度の翌年から2年間を選考の対象としない。
また、日本音楽と器楽・管弦楽部門は連続して全国大会に推薦することは出来ない。
- 4 講評 ① 各校の演奏についての講評を講師に依頼し、高文連集録に掲載する。
② 講師
(合唱部門) 東京音楽大学・札幌大谷大学非常勤講師 川原 敦子
(日本音楽部門・器楽管弦楽部門) 元 北翔大学教授 菅原 克弘
(吹奏楽部門) 東海大学学園吹奏楽コーディネーター 井田 重芳
- 5 リハーサル 行わない。
- 6 プログラム 出演順は当番校が決定する。なお、申込後に演奏曲目を変更した場合は審査の対象としない。
演奏曲目に関する編曲許諾の手続きは、演奏団体が事前に済ませておくこと。
- 7 楽器の用意 大型打楽器については、当番校が用意するものとする。別紙書式にある借用楽器申込用紙で申し込むこと。特殊な打楽器などをやむを得ず持ち込む場合は、必ず事前に当番校に連絡・確認をすること。また楽器には名札等を付け、管理できるよう留意すること。
- 8 電気楽器等の使用 審査の公正を期するため、エレキベース以外の音量増幅のための電気楽器及びマイク等の使用は認めない。
- 9 審査対象外の事項 上記1. 6. 8. の項目に反した場合、失格とし、審査の対象としない。
- 10 会議・打合せ (1) 専門委員会
10月3日(火) 9:30~10:30 室蘭市文化センター
(2) 出場校代表者会議
10月3日(火) 11:00~12:00 合唱・日本音楽・器楽管弦楽部門 参加校
同 上 15:00~16:00 吹奏楽部門 参加校

- (3) 選考委員会
各部門の演奏終了後
- (4) 大会参加校顧問・大会役員による合唱のリハーサルはありません。交流会の開始時になりましたら、お集まり下さい。詳細は代表者会議で連絡します。

- 11 開会式・表彰式 10月3日(火) 17:20~17:50 会場 室蘭市文化センター 大ホール
- (1) 挨拶 副大会長 北海道札幌東陵高等学校長 西田正史
副大会長(音楽専門部長) 北海道札幌旭丘高等学校長 石黒清裕
大会委員長 北海道大谷室蘭高等学校長 竹本将人
- (2) 祝辞 室蘭市長 予定様
- (3) 歓迎のことば 北海道大谷室蘭高等学校吹奏楽部部长 小島大貴
- (4) 講師紹介 大会総務委員長 北海道帯広柏葉高等学校 杉村光雄
- (5) 講師講評(合唱部門) 東京音楽大学・札幌大谷大学講師 川原敦子
(日本音楽部門) 元北翔大学教授 菅原克弘
(器楽管弦楽部門) 同上
- (6) 成績発表 大会総務委員長 北海道帯広柏葉高等学校 杉村光雄
- (7) 表彰 副大会長 北海道札幌旭丘高等学校長 石黒清裕
- 12 交流会 10月3日(火) 17:50~18:20 会場 室蘭市文化センター 大ホール
- (1) 大会役員・引率教員による合唱「ふるさと」 指揮 当番学校長 竹本将人
- (2) 歓迎演奏と交流 北海道大谷室蘭高等学校吹奏楽部
- (3) 全体合唱「大地讃頌」
- 13 閉会式・表彰式 10月4日(水) 16:45~17:15 会場 室蘭市文化センター 大ホール
- (1) 挨拶 副大会長 北海道札幌東陵高等学校長 西田正史
大会委員長 北海道大谷室蘭高等学校長 竹本将人
- (2) 講師講評(吹奏楽部門) 東海大学学園吹奏楽コーディネーター 井田重芳
- (3) 成績発表 大会総務委員長 北海道帯広柏葉高等学校 杉村光雄
- (4) 表彰 副大会長(音楽専門部長) 北海道札幌旭丘高等学校長 石黒清裕
- (5) 送ることば 北海道大谷室蘭高等学校吹奏楽部部长 小島大貴
- (6) 大会旗授与・挨拶 次年度当番校 北海道旭川西高等学校吹奏楽部部长